

緑の回廊 あまかざり とがくし 雨飾・戸隠

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・北信森林管理署、中信森林管理署
所在地	長野県 小谷村・長野市戸隠・長野市鬼無里
面積	3,792.09ha
設定年	平成12年
緑の回廊の概要 (設定目的)	雨飾・天狗原山生物群集保護林から、戸隠山生物群集保護林等を結ぶ区域で、保護林と保護林を連結し、野生動物の日常行動や季節移動時の経路を作ることにより、分断された個体の交流を促し、個体群の遺伝的組成の健全化を図る。また、植物についても、動物による花粉媒介や種子散布を通じての交配拡大を図るなど、森林生態系の構成者である野生動植物の多様性の保全を図る。



調査プロットの林況



ツキノワグマ

モニタリング調査の概要

実施年度	令和4年度
調査項目	森林概況調査、森林階層ごとの植生調査（森林調査）、動物調査（哺乳類・鳥類）、聞き取り調査、資料調査
調査手法	8か所の調査プロットにおいて、林分の発達段階の調査、ニホンジカの植生被害状況調査、植生調査、自動撮影カメラ調査、痕跡調査、剥皮被害状況調査、スポットセンサス法による鳥類調査を行った。また、緑の回廊の管理体制や野生動物の生息状況について聞き取り調査を行った。資料調査として、種子の豊凶調査データと森林生態系多様性基礎調査のデータを整理した。
結果概要	<ul style="list-style-type: none">●林分の発達段階は、成熟段階から老齢段階であった。林齢が高いプロットではギャップによる天然更新が行われていた。ニホンジカによる下層植生の衰退は確認されなかったが、戸隠地域のプロットを中心にニホンジカの食痕や剥皮が散見された。●哺乳類調査では、ツキノワグマやニホンカモシカなど17種を確認した。ニホンジカは幼獣が撮影されたプロットが増加しており、戸隠地域を中心に定着が進んでいると考えられる。ノウサギの確認は前回のH25年度調査に比べて大きく減少した。鳥類調査では49種を確認した。ニホンジカ増加に伴う林床植生の変化の影響を受けやすいとされるアオジやウグイス等に、減少傾向は確認されなかった。●市町村等への聞き取り調査の結果、ニホンジカやイノシシの分布拡大や農業被害の増大に関する情報が得られた。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。